

[009]学生法政論集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1513716>

出版情報：学生法政論集. 9, 2015-03-25. 九州大学法政学会
バージョン：
権利関係：

編集後記

掲載されなかった方も含め、投稿された学生のみなさん、ありがとうございました。

みなさんの挑戦心と努力に経緯を表します。また審査・評価にご協力いただいた先生方、ならびに事務を担当していただいた補助室のみなさんに感謝します。学術的論文を書くということは、単にゼミ論文を書く以上の技術や能力、意志が必要です。来年度以降も、少しでもさらに多くの学生のみなさんに、挑戦していただきたいと願っています。(爺)

論文を投稿していただいた皆さんお疲れ様でした。これからも何事も関心をもって専門的にそして理論的な表現で第三者に納得させる力強い論文を書いていってほしいと思います。今後もどんどんチャレンジして思考力をつけていってください。皆さんの活躍を期待しています。(SUV)

学生時代の柔らかい頭で色々なことを考えながら物を書くという作業は、それ自体がとても貴重な経験だと思います。特に、情報が溢れている現代社会では、不必要な情報を捨てる能力も求められるようになりました。その意味で、良い論文を書くことは、これまで以上に難しいのかもしれませんが、そのようななかで、今回果敢に応募した皆さんは、さらなる飛躍の機会を得たことでしょう。来年度も、新たなチャレンジをお待ちしています。(A. E)

論文というものは最終的には「主張」へと至るものではありませんが、「主張」だけで成り立つものではありません。その「主張」を支える屋台骨としての、前提となる事実検証や理論的考察が不可欠であり、論文の良し悪しもこの前提部分の着実さで決まると言えます。着実な論証を心がけてください。(MN)

ある一つの問題を深く掘り下げて検討することは、その問題の理解を深めることはもとより、隣接領域ひいてはその分野全体について視野を広げることにもつながります。来年度以降もどんどん応募ください。思いっきり考えて論文を書いた後、他の問題に目を向けたときにこのことが実感できると思います。(IR)

著者の熱い問題意識を感じられる論文はとても魅力的ですが、その問題意識が読み手を説得できる精緻な議論に支えられていなければ、残念ながら論文としての価値はありません。掲載に至った方もそうでない方も、ご自身の論文を改めて第三者の目で読み直してみましょう！(E)

『学生法政論集』第10号(2016年3月発行予定)の募集につきましては、「九州大学法政学会ホームページ」および「法学部ホームページ」にてお知らせします(6月下旬予定)。